

前期計画

(2) 河北地区

現況

河北地区は、本市の北東部に位置し、地区の中心部には追波湾へ注ぐ東北地方最大の河川である北上川が、西部には石巻湾へと注ぐ旧北上川が流れ、北上高地から連なる上品山、硯上山などの山々、リアス式海岸を有する三陸海岸、白鳥の飛来地である富士沼や長面湖など、多彩な自然に恵まれた地区です。

本地区では、これらの多様な環境を活かした産業が営まれており、農業は法人化が進み、稲作を中心に麦・大豆など様々な農作物が作られています。その他にも林業や漁業などが営まれ、「河北せり」「べっこうしじみ」「長面カキ」など多くの特産品が作られています。

観光では、道の駅「上品の郷」は県内2番目の入込数を誇る道の駅であるとともに、温泉も併設されており、地元住民にも愛される重要な施設となっています。そのほか、サマーフェスタ・イン・かはくやフェスタ・イン・かはくなどの市民に愛されるイベントも開催しています。食文化では、特産の河北せりを使用したせり鍋などのほか、古くから飯野川地区で料理の汁として利用されてきたサバだしに着目した「サバだしラーメン」など新たな名物も生み出されています。

また、地域コミュニティの活性化や地域の人材育成を目指す取組も行われ、幅広い文化・屋内スポーツ・学習・交流活動を行うことができる「河北総合

センター（ビッグバン）」、世代を問わず屋外スポーツに親しむことのできる「追波川河川運動公園」など文化スポーツ施設が充実しています。

文化としては、各地区に古くから伝えられている神楽が有名で、県指定無形民俗文化財である「皿貝法印神楽」は1615～23年に本吉郡戸倉村から伝えられたと言われており、現代に受け継がれています。皿貝法印神楽のほかにも、市指定無形民俗文化財の飯野川・後谷地・福地・釜谷長面尾崎の崎法印神楽をはじめ、各地区において多くの民俗、芸能文化が継承されています。

道路交通基盤では、三陸縦貫自動車道の河北インターチェンジが地区内にあることにより交通の利便性が高く、本市の中心部に位置し、飯野川橋や新北上大橋など橋りょうも整備されていることから、市内各地区へのアクセスの拠点として重要な役割を果たしています。

東日本大震災後に整備された二子団地には、河北地区・雄勝地区・北上地区より移住した約400世帯が居住しており、市内半島沿岸部の移住団地では最大規模の防災集団移転先となっています。

また、大川地区には、憩屋・追波の場とともに、震災被害の事実や学校における事前防災と避難の重要性などを伝えるため「震災遺構 大川小学校」を整備しています。

主要課題

本地区では、少子高齢化に伴い、一部地域において地域を担う後継者が不足しており、地域コミュニティそのものの維持が困難になってきている地区もあります。また、防災集団移転地である二子団地では、複数の地区からの移住者が居住していることから、新たなコミュニティの形成に時間を要しています。

農業については、効率的・安定的経営体の育成及び後継者・新規就農者を確保し、安定的農業経営の確立を一層推進するとともに、近年増加している有害鳥獣の被害対策が必要となっています。

漁業については、陸地と隣接した環境で行われており、排水処理などによる漁業への影響が懸念されることから、環境への配慮が求められています。

商業については、郊外型商業施設の進出により、旧来の商店街からの顧客が流出し、個人商店の閉店などが進行していることから、商店経営の近代化などが課題となっています。

災害対策については、近年、大雨時に住宅や農地・水路などに甚大な被害が発生していることから、既存の排水処理施設などの見直しや内水排除への対策が求められているとともに、地区面積の多くを山林が占めていることから、森林整備を推進することにより土砂災害を防止するなど災害対応体制を構築する必要があります。

将来展望

観光振興及び地域振興の拠点である道の駅「上品の郷」を活用し、上品山や長面湖などの豊かな自然環境、さらには「河北せり」「長面カキ」「べっこうしじみ」などの特産品を活用したイベントを実施することにより、地域の活性化を図るとともに、「河北総合センター（ビッグバン）」などの文化施設を活用した文化行事などの取組が行われ、世代間交流が発展した活気ある生活が営まれています。

施策展開の方向

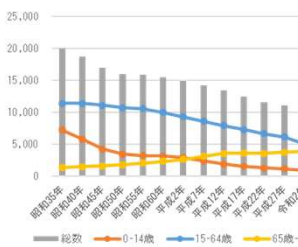
- 既存の住宅地や新たに整備された復興団地とともに地域住民の交流や地域活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 医療と介護の連携推進、保育や子育て支援における安全安心など、様々な課題に総合的かつ包括的な支援が行える体制の強化に努めます。また、地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防への取組、身近な地域における支え合いの取組を推進します。
- 「河北総合センター（ビッグバン）」や「追波川河川運動公園」などの文化・スポーツ施設の利活用促進を図り、交流活動やスポーツを通じた関係人口の拡大や住民の健康の保持増進を図ります。
- 身近な生活道路を整備するとともに地域性を考慮した公共交通体系を構築し、市民生活や経済活動の利便性向上と地域の活性化を図ります。
- 地震や水害などの自然災害への対策を推進し、関係機関との連携の強化や自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図ります。
- 農林漁業の安定した経営体の育成と担い手の確保を図り、有害鳥獣による被害対策や環境への配慮に努め、地域産業の振興を図ります。
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化に努めます。
- 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、旧来の商店街と連携して地域のにぎわいを創出し、地域振興と観光振興を図ります。
- 「皿貝法印神楽」をはじめとする各地域に伝わる「神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努めます。

後期計画（案）

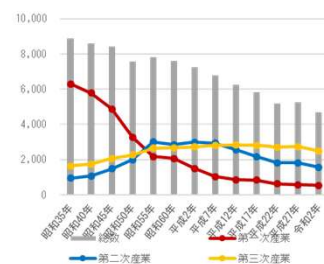
(2) 河北地区

人口の推移

○人口の推移



○産業人口の推移



地区の特色

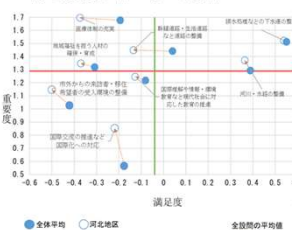
主要産業	農業、漁業
特産品	河北せり、べっこうしじみ、長面カキ、サバだしラーメン
施設	道の駅「上品の郷」、河北総合センター「ビッグバン」、追波川河川運動公園、震災遺構 大川小学校
文化	皿海法印神楽（県指定無形民俗文化財）、飯野川・後谷地・福地・釜谷長面尾崎 崎法印神楽（市指定無形民俗文化財）



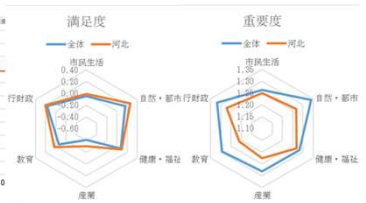
市民満足度調査の結果からみる地区の課題

○満足度調査（河北地区抜粋）

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋



○分野ごとの満足度・重要度



- 市の平均と比較し、インフラ整備や医療・福祉、国際交流を課題と認識している。
- 全分野で市の平均よりも満足度が高い傾向。
- 全分野で市の平均よりも重要度が低く、とくに教育分野で低い傾向。

施策展開の方向

- 既存の住宅地や新たに整備された復興団地とともに地域住民の交流や地域活動を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 医療と介護の連携推進、保育や子育て支援における安全安心など、様々な課題に総合的かつ包括的な支援が行える体制の強化に努めます。また、地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防への取組、身近な地域における支え合いの取組を推進します。
- 「河北総合センター（ビッグバン）」や「追波川河川運動公園」などの文化・スポーツ施設の利活用促進を図り、交流活動やスポーツを通じた関係人口の拡大や住民の健康の保持増進を図ります。
- 身近な生活道路を整備するとともに地域性を考慮した公共交通体系を構築し、市民生活や経済活動の利便性向上と地域の活性化を図ります。
- 地震や水害などの自然災害への対策を推進し、関係機関との連携の強化や自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図ります。
- 林漁業の安定した経営体の育成と担い手の確保を図り、有害鳥獣による被害対策や環境への配慮に努め、地域産業の振興を図ります。
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、地域の活性化に努めます。
- 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、旧来の商店街と連携して地域のにぎわいを創出し、地域振興と観光振興を図ります。
- 「皿貝法印神楽」をはじめとする各地域に伝わる「神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努めます。